

「歴史総合」をどう構想するか

趣旨：新学習指導要領が、この3月末に出され、高校の歴史教育の新しい枠組みが示されました。2022年度より、「歴史総合」（2単位）、「日本史探究」（3単位）、「世界史探究」（3単位）が導入されます。「歴史総合」の授業をどう構想するのか。教科書も作られ始めた今、高校の歴史教育について考えたいと思います。

日時：2018年8月4日（土）13：00～18：00

会場：日本学術会議 講堂

東京都港区六本木 7-22 -34. 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 5 番出口より 2 分

〈事前申込不要／入場料無料〉

13:00～

開会挨拶：若尾政希（日本学術会議第一部会員、一橋大学大学院教授）
報告

13:10～

久保 亨（日本学術会議連携会員、信州大学人文学部特任教授）
「歴史総合」を提言した立場から

13:30～

君島和彦（日本学術会議連携会員、東京学芸大学名誉教授）
学習指導要領の構造と「歴史総合」

14:00～

西村嘉高（青山学院高等部）
「歴史総合」をどう構想するか（Ⅰ）
：学習指導要領に基づいた具体案を出発点にして考える

14:30 ～

堀口博史（埼玉県立和光南特別支援学校）
「歴史総合」をどう構想するか（Ⅱ）
：リアルな生活感に通じ、未来を創造できる歴史学習に迫る

15:00～15:15 休憩

15:15～

総合討論 司会 近藤孝弘（日本学術会議連携会員、早稲田大学教授）・久保 亨
コメント：坂井俊樹（日本学術会議連携会員、開智国際大学教育学部教授）

17:25 ～

閉会挨拶：木村茂光（日本学術会議連携会員、東京学芸大学名誉教授）

主催：日本学術会議史学委員会中高大歴史教育に関する分科会